

上越市幼年野球大会内規（大会特別規約及び注意事項）

1 適用規則について

- (1) 本大会内規によるほかは、「2022年度公認野球規則」「全日本野球連盟競技者必携・少年野球に関する事項」による。
- (2) グラウンドルールは、当日審判から伝達する。

2 試合回数について

- (1) 試合は5回戦とし、試合開始後1時間15分を過ぎて新しい回に入らない。ただし、同点の場合、時間内であれば、タイブレイク方式を実施する。（無死1、2塁・継続打順からスタート）
- (2) 決勝は6回戦とし、試合開始後1時間30分を過ぎて新しい回に入らない。ただし、同点の場合、時間に関係なく、タイブレイク方式を実施する。（無死1、2塁・継続打順からスタート）

3 コールドゲームについて

- (1) 5回戦は3回以降10点差とする。決勝は、5回以降7点差とする。
- (2) 降雨等による場合は3回、決勝は5回で試合成立とする。成立以前の中止については再試合。

4 抽選について

- (1) 上記の試合方法で決着がつかない場合は、最終出場選手18名で抽選を行い、勝敗を決する。
- (2) 抽選は、両チームの選手が本塁を挟んで向かい合い、整列して次のように行う。
 - ①審判員は抽選棒が1本ずつ入った18袋の封筒を先攻チームから打撃順で交互に選ばせる。
 - ②18人が選び終わったら、審判員はチーム別に回収し開封する。
 - ③朱印がついた棒が5本以上あるチームの勝ちとする。

5 選手への指示について

時間短縮のため、監督はグラウンド（ダイヤモンド）に入って直接指示を与えて良い。

6 服装・用具について

- (1) 選手は着帽し、ユニフォームまたは、運動着（背番号を付ける）を着用すること。
- (2) 危険防止のため、金属スパイクを禁止する。また、打者・次打者・走者・ベースコーチは、両耳つきのヘルメットを着用すること。捕手のマスク・ヘルメット・プロテクター・レガース・ファールカップも同様とする。（試合前の練習においても着用すること）

7 投手について

- (1) 投手が変化球を投げることは禁止する。
- (2) 投球制限を設ける。（大会中の1日の球数・・・70球）
- (3) 投球数については、ベンチ内にボードを用意するので両チームの投手の球数をカウントする。

8 その他

- (1) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- (2) ベンチに入れる大人は、監督1名・コーチ2名・マネージャー2名・スコアラー1名の計6名。
- (3) 審判員への抗議は、ルールの解釈上の問題に限り、監督のみに認める。
- (4) 試合開始時刻になっても会場に来ないチームは、原則として棄権とみなす。ただし、正当な理由があると主催者が判断した場合は、この限りではない。

（大会1日目～3日目、3密対策として、自チームの試合開始時間30分前集合をお願いします。）

※ウォーミングアップを済ませて球場にお越しください。

- (5) 上記各事項の解釈、または未記載事項については、主催者及び審判団で協議し決定する。大会関係者（参加者・保護者なども含む）はこれに従うこと。
- (6) ファール球の処理は、各チームで対応すること。
- (7) 試合終了後、ベンチ周りのゴミ等は各チームで責任をもって処理すること。

9 参加申込み事項等に虚偽の事実が判明した場合

- (1) 大会進行時に判明した場合は、その時点で没収試合とする。
- (2) 大会終了後に判明した場合は、該当チームの成績は抹消する。そのチームが1～3位に該当していた場合は、空位とする。

10 参加チームからの協力について

- (1) 各チームから審判2名と記録員1名を出すこと。主審は原則としてトーナメント番号の若いチームが担当する。
- (2) 審判の際、随時給水すること。（感染症対策として、飲料は各自で用意してください。）
- (3) 塁審の服装は、白色のYシャツ（白色のポロシャツ可）に紺または黒色のズボン、帽子も紺または黒色が望ましい。
- (4) 応援については「新しい生活様式」である密集・密接を避けるべく、距離を保つての応援・拍手での応援をお願いします。（特に、大声での応援はご遠慮ください。）